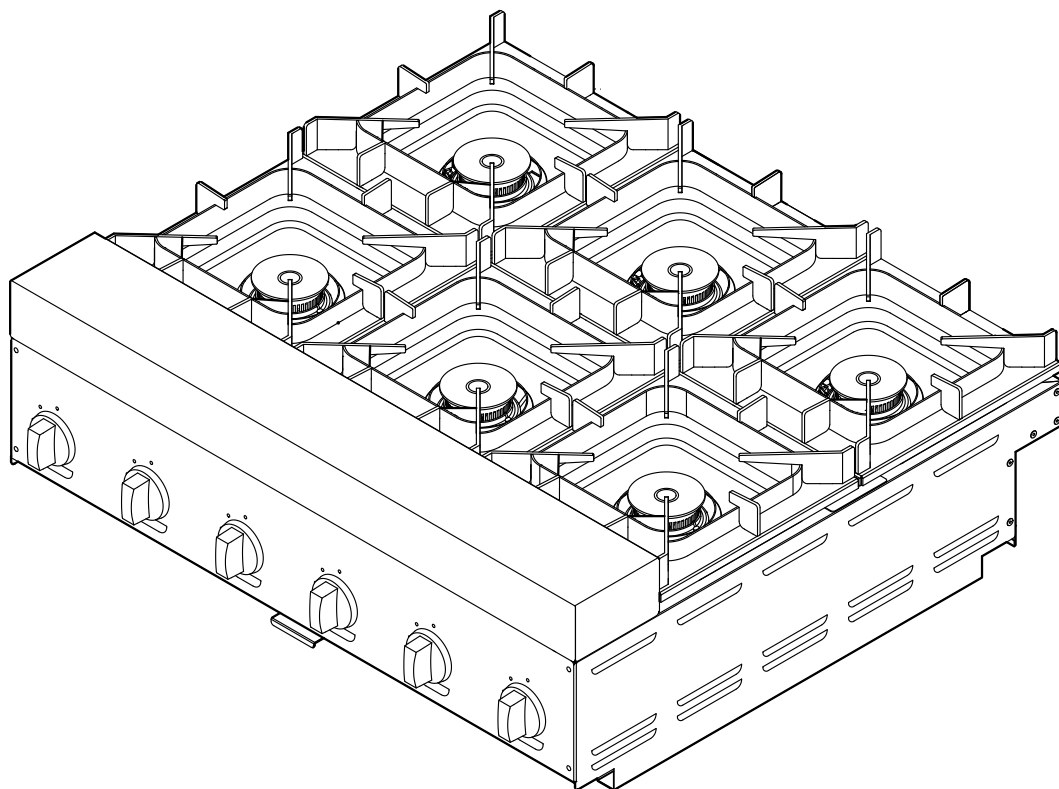


業務用

低輻射型 ガステーブルコンロ

鉄腕ガッツ涼^{りょう}



品番	STK-S572T	(2口タイプ)
	STK-S574T	(4口タイプ)
	STK-S576T	(6口タイプ)

家庭用には使用しないでください

このたびは、業務用 低輻射型ガステーブルコンロ「鉄腕ガッツ涼」を、お買い上げ頂きましてありがとうございます。製品を末永く安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。

目 次

■ 《ご使用前に》または《安全に正しくお使い頂くために》	2
■ 表示と意味	
■ 絵表示について	
■ 特に注意していただきたいこと	3～7
■ ガス漏れの処置	
■ 使用ガスについての注意	
■ 異常時の処置	
■ 火災予防	
■ 火災注意	
■ 注意－使用上の注意	
■ お願い	
■ 各部の名称と仕様	8～9
■ 各部の名称	
■ 消耗品	
■ 仕様表	
■ 設置について	10～11
■ 設置前の準備	
■ 設置場所	
■ 設置時の注意	
■ バーナ取り付け方法	
■ ご使用方法	12
■ ご使用前の準備	
■ 操作の方法	
■ 火力の調節	
■ 安全装置について	
■ 停電時・災害時のご使用方法	
■ 日常の点検・お手入れ	13～15
■ 点検・お手入れの際の注意	
■ 点検	
■ お手入れの道具と洗剤	
■ お手入れ	
■ 立消え安全装置（サーモカップル）のお手入れ	
■ バーナキャップのお手入れ	
■ バーナのお手入れ	
■ 故障・異常の見分け方と処置方法	16
■ 長期間使用しない場合	16
■ アフターサービスについて	17
■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に	
■ 移設される場合	
■ 保証について	
■ 消耗品	
■ 補修用性能部品の最低保有期間について	
■ お客様の個人情報の取り扱いについて	
■ 連絡先	
■ 保証書	18

■《ご使用前に》または《安全に正しくお使い頂くために》

安全に正しく使用して頂くために必ずお読みください。

ここに示した注意事項と絵表示は機器を安全に使用していただきお客様や他の人々の危害や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■表示と意味

誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度を3つに区分しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

 一般的な危険 警告 注意	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
 火災注意	このような絵表示は、火災に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
 火気禁止	このような絵表示は、火気を使ってはいけない「禁止」内容です。
 高温注意	このような絵表示は、高温に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
 一般的な禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 触手禁止	このような絵表示は、手を触れてはいけない「禁止」内容です。
 必ず行う	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
 換気必要	このような絵表示は、必ず換気をしていただく「強制」内容です。

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

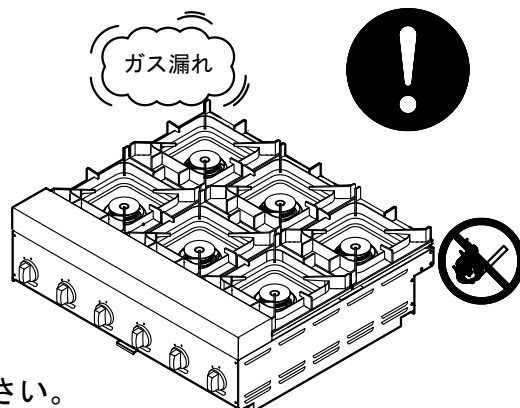
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じて下さい。
- ②窓や戸を開けガスを外へ出して下さい。
- ③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。



⚠ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板（機器右側面に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。移設した時も、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火で火傷したりすることがあります。また、故障の原因にもなります。

わからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。

例：6口タイプの場合

品番：STK-S576T	
形式名：STK-S576T	
都市ガス12A、13A用	
ガス消費量12A	23.04kW
13A	24.42kW
00.00-000000	
山田金属工業株式会社	
業務用	使用可能な最大ナベ寸法
	直径26cm

■ 点火確認・消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は消火と、器具栓ツマミが右（時計方向）へ「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガス栓を必ず閉じて下さい。火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発の恐れがあります。

■ 日常の維持管理

日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また、炎孔が詰まったり消耗したバーナは、未着火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。

■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音が感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずにガスの器具栓及びガス栓を閉じて使用を中止する。

故障・異常の見分け方と処置方法（16ページ）に従って下さい。

ガス栓を閉じる

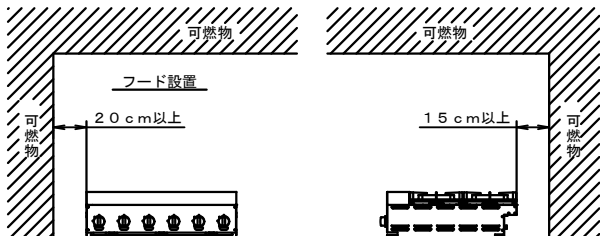
■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告

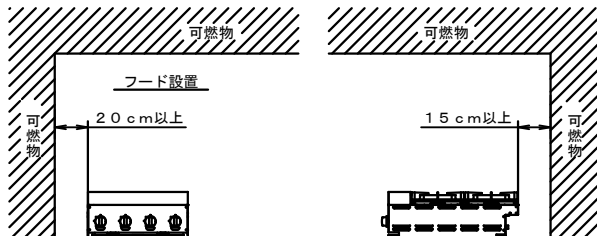
■ 火災予防

設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。

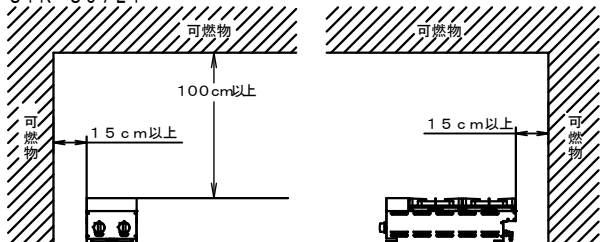
STK-S576T



STK-S574T



STK-S572T



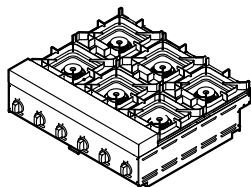
⚠ 注意

STK-S576T（6口）及び
STK-S574T（4口）は
必ず上方に排気フード付排気筒が
必要です。



■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。
機器の周囲にスプレー缶を置かない。



火災注意

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

■ 火災予防

火をつけたまま離れない。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

■ 火災予防

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない。



火災の原因となります。

■ 火災予防

機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。



焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

■ 使用上の注意

水につけたり、水をかけたりしない。

着火不良や不完全燃焼、故障の原因になります。



■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

 警告

■ 使用上の注意

点火操作をしても点火しない場合はツマミを右（時計方向）いっぱいまで戻して周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする。



すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをする恐れがあります。

■ 使用上の注意

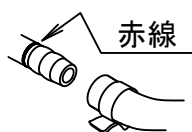
お手入れする部品以外は、絶対に分解したり修理や改造は行わないでください。



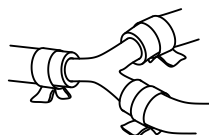
一酸化炭素中毒などによる死亡事故のおそれがあります。
またガス漏れや火災の原因になります。

■ 使用上の注意

ゴム管は、ガス用ゴム管（検査合格マークの入っているもの）を使用して下さい。
ゴム管は、ゴム管口の赤線まで差し込みゴム管止で確実に止めてください。

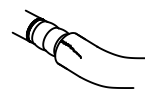


ゴム管の継ぎたし、及び二又分岐はしない。



ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

ゴム管は、ときどき点検して取り替える。



古くなると、ひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因となります。

■ 使用上の注意

水のかかるところや、他の熱源の近くでは使用しないでください。



故障の原因になります。

■ 使用上の注意

不安定な場所や可燃物の上に設置しないでください。



火災の原因になります。

■ 使用上の注意

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。



やけどやけがをするおそれがあります。

■ 使用上の注意

使用中にもち運ばないでください。



火災注意

火がついたまま製品を動かさないでください。転倒すると火災・やけどの原因になります。

■ 使用上の注意

酸性、アルカリ性の洗剤を本体にかけないでください。ガス通路部品が腐食し、ガス漏れの原因になります。（14ページ参照）



■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

■ 使用上の注意

調理専用器具ですので調理以外の用途には使用しない。



火災注意

過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 使用上の注意

使用中や使用直後は、高温部（ゴトク・汁受け・バーナ等）には触れない。



機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合は火傷に注意して下さい。

■ 使用上の注意

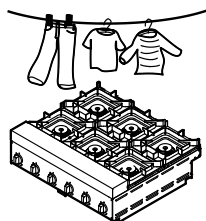
車両・船舶での使用はしないでください。



使用中に機器が傾いたり、火災や火傷の原因になります。

■ 使用上の注意

衣類の乾燥などに使用しない。



衣類が落下して火災になることがあります。

■ 使用上の注意

点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う。



手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをする恐れがあります。

■ 使用上の注意

やかんやなべの取っ手がバーナの炎で過熱され、焼損することがあります。火力を調節してください。



やかんやなべの取っ手は熱くなります。やけどに注意してください。強火で使用するときは取っ手が樹脂のものは焼損しないよう注意してください。

■ 換気に注意

使用中は窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をしてください。

不完全燃焼による一酸化炭素中毒で死に至る危険があります。



確認

- 機器が水平で丈夫な場所に設置してください。
- 各部品とも正しくセットされているか確かめてください。
- 底皿は奥まで確実に装着してください

各部品の装着が不十分ですと、機器が加熱されたりして故障の原因になります

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

■ 使用上の注意

コンロ使用時に体の一部や衣服がバーナに近づかないように注意してください。



衣類に炎が移ったりして、けが・やけどをする原因になります。

■ 使用上の注意

バーナキャップ・バーナ・汁受けを水洗いしたときは、水気を十分切ってからセットしてください。



水で炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。

■ 使用上の注意

揚げ物調理には使用しないでください。



火災注意

調理油が過熱して火災になることがあります。

■ 使用上の注意

- ・補助具はこの調理器具用の付属品以外は使用しないで下さい。
- ・なべをお使いになるときは26cm以下のものをご使用下さい。
- ・この製品は業務用です。家庭用には使用しないで下さい。

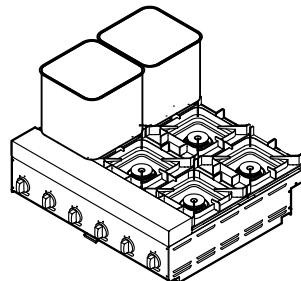
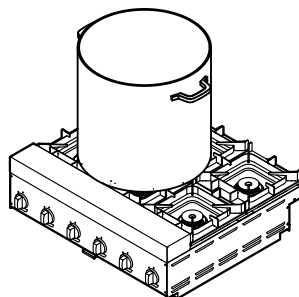
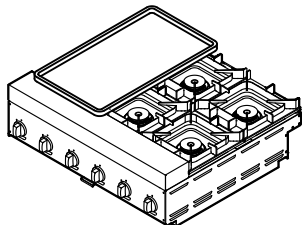
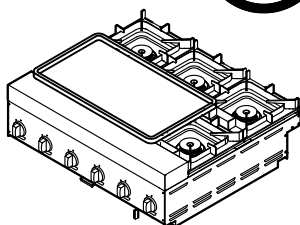
■ 使用上の注意

炎をふさいだり、器具を覆ってしまうような大きな鉄板、鍋を使用したり、角ポットを並べるような誤った使い方を行わないで下さい。不完全燃焼や異常過熱による機器の損傷や火災の危険性があります。

【誤った使い方の例】



下図のようなご使用は、誤った使い方です。



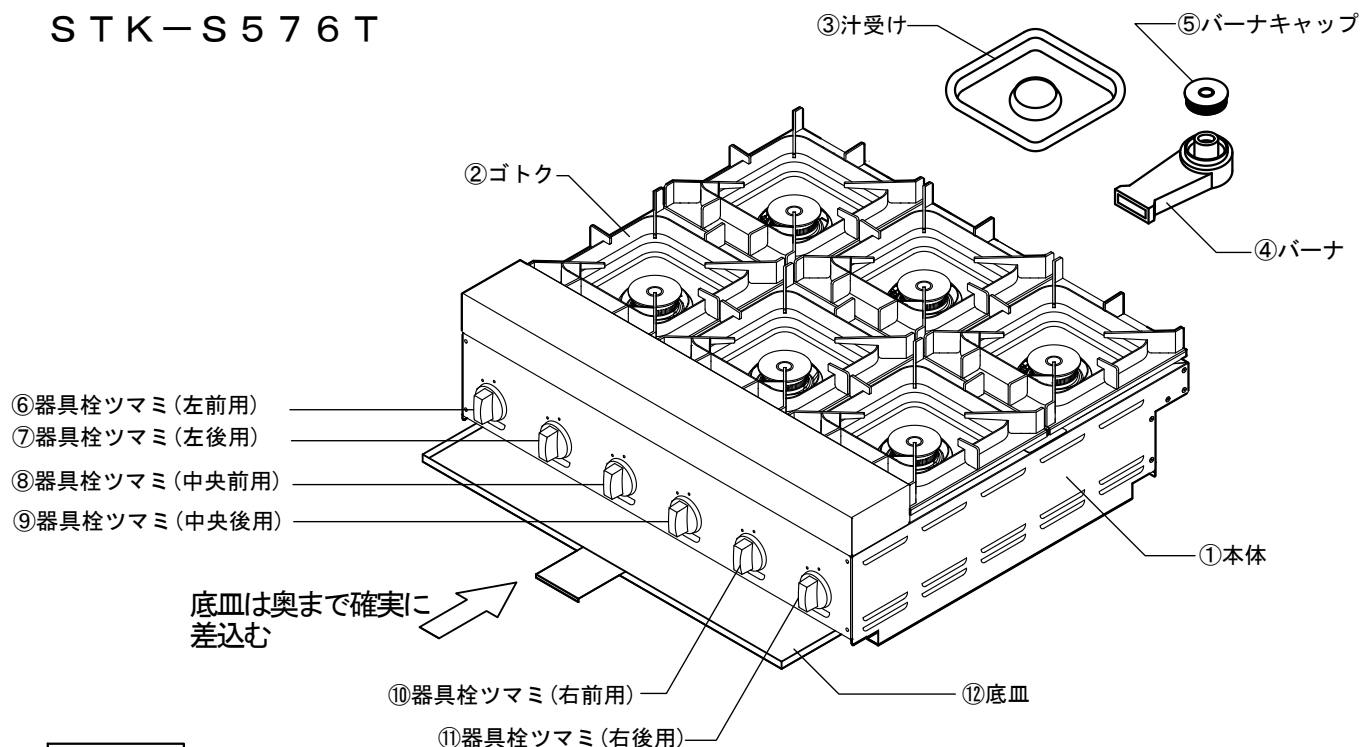
お願い

- ・使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめて下さい。
- ・使用後は消火と、器具栓ツマミが右（時計方向）へ「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガス栓を必ず閉じて下さい。
火が立消えた状態で放置されると多量のガスが漏れ、爆発の恐れがあります。

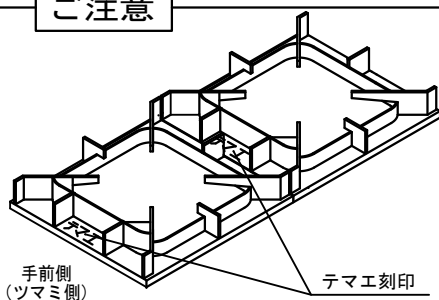
■ 各部の名称と仕様

■ 各部の名称

STK-S576T

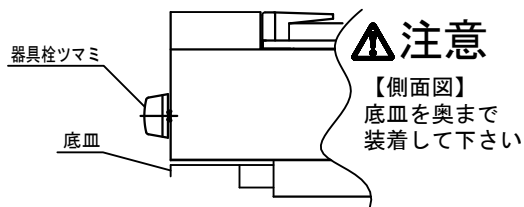


ご注意



ゴトクには方向性があります。ゴトク表面に「テマエ」と刻印されている方を手前側 (ツマミ側) になるようにセットしてください。

反対向きに載せるとゴトクがガタついて正しく載りません。



■ 消耗品

バーナ、バーナキャップ1.8 (13A用)、汁受け、ゴトク

No.	部 品 名 称	は た ら き
①	本 体	バーナ・汁受け・ゴトクを受けている部品
②	ゴ ト ク	鍋を保持する部品
③	汁 受 け	鍋からの吹きこぼれを受ける部品
④	バ ー ナ	ガスと空気を混合する部品
⑤	バーナキャップ	バーナの上に装着して、安定した炎を出す部品
⑥	器具栓ツマミ (左前用)	左前バーナ用の火力調節用のツマミ
⑦	器具栓ツマミ (左後用)	左後バーナ用の火力調節用のツマミ
⑧	器具栓ツマミ (中央前用)	中央前バーナ用の火力調節用のツマミ
⑨	器具栓ツマミ (中央後用)	中央後バーナ用の火力調節用のツマミ
⑩	器具栓ツマミ (右前用)	右前バーナ用の火力調節用のツマミ
⑪	器具栓ツマミ (右後用)	右後バーナ用の火力調節用のツマミ
⑫	底 皿	ゴミや吹きこぼれた汁などを受ける部品

■ 各部の名称と仕様（つづき）

■ 仕様表

記 載 事 項		記 載 内 容		
製 品 名		鉄 腕 ガ ッ ツ 涼		
品 番		STK-S572T	STK-S574T	STK-S576T
形 式 名		STK-S572T	STK-S574T	STK-S576T
コ ン ロ の 数		二 口	四 口	六 口
表示ガス消費量	1 3 A	8 . 1 4 k W	1 6 . 2 8 k W	2 4 . 4 2 k W
	1 2 A	7 . 6 8 k W	1 5 . 3 6 k W	2 3 . 0 4 k W
点 火 方 式		圧電点火方式（押し回し）		
空 気 調 節 器		固定式		
バ ー ナ 数		2	4	6
外形寸法	横 幅	2 2 0 mm	4 4 0 mm	6 6 0 mm
	奥 行	6 0 0 mm（器具栓ツマミ含む）		
	高 さ	2 1 0 mm		
ガ ス 接 続 口		9.5mmゴム管用ホースエンド	13mmゴム管用ホースエンド	
安 全 装 置		立消え安全装置（サーモカップル式）		
排 気 フ ー ド		～	上方に必ず必要です	
質 量		約 9 kg	約 1 6 kg	約 2 4 kg
使用可能な最大なべ径		2 6 c m		

※予告なく仕様の一部を変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

■ 設置について

■ 設置前の準備

- ・ 機器をダンボールから取り出して包装部品全て取り除き、付属品を確認してください。

■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けて下さい。
火災になることがあります。
- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避け下さい。照明器具のかさ等が変形することがあります。



- ・ 安定のよい丈夫で水平な台の上に設置して下さい。不安定な所や傾いた所に設置すると機器が傾いてやけどやけがをすることがあります。
- ・ 強い風の吹き込む所を避ける。風で吹き消されたりする場合があります。



■ 設置時の注意

- ・ ゴム管の接続
ゴム管の接続時にホースバンドを必ず付けて下さい。
ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないように
できるだけ短く、また器具の下を通したり器具に触れたりしない。



- ・ 周囲の壁などが木材のような可燃物の場合は、4ページの離隔距離を参照に壁面より離してください。

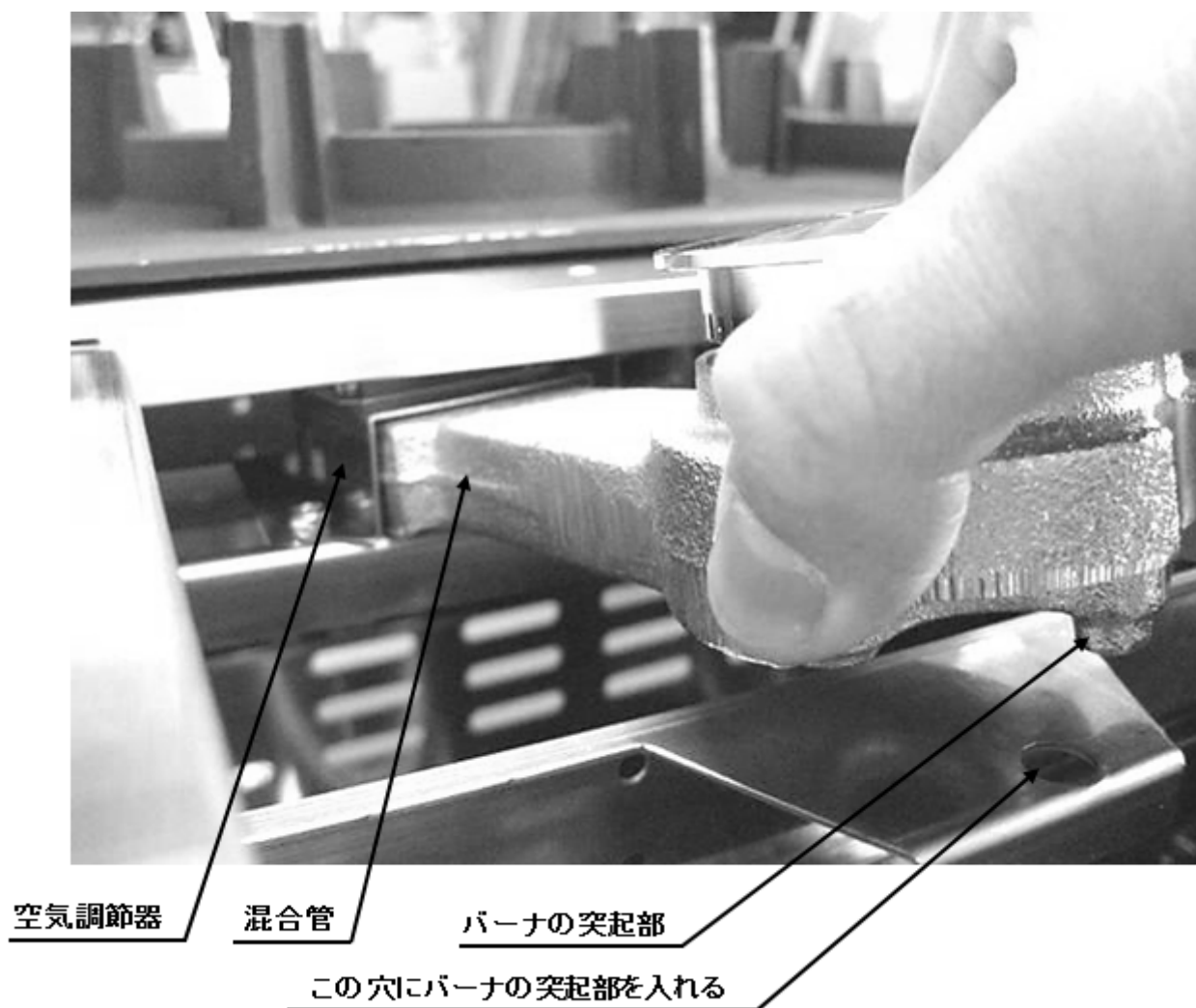


- ・ STK-S576T (6口) STK-S574T (4口) の設置には、必ず上方に排気フード付排気筒が必要です。

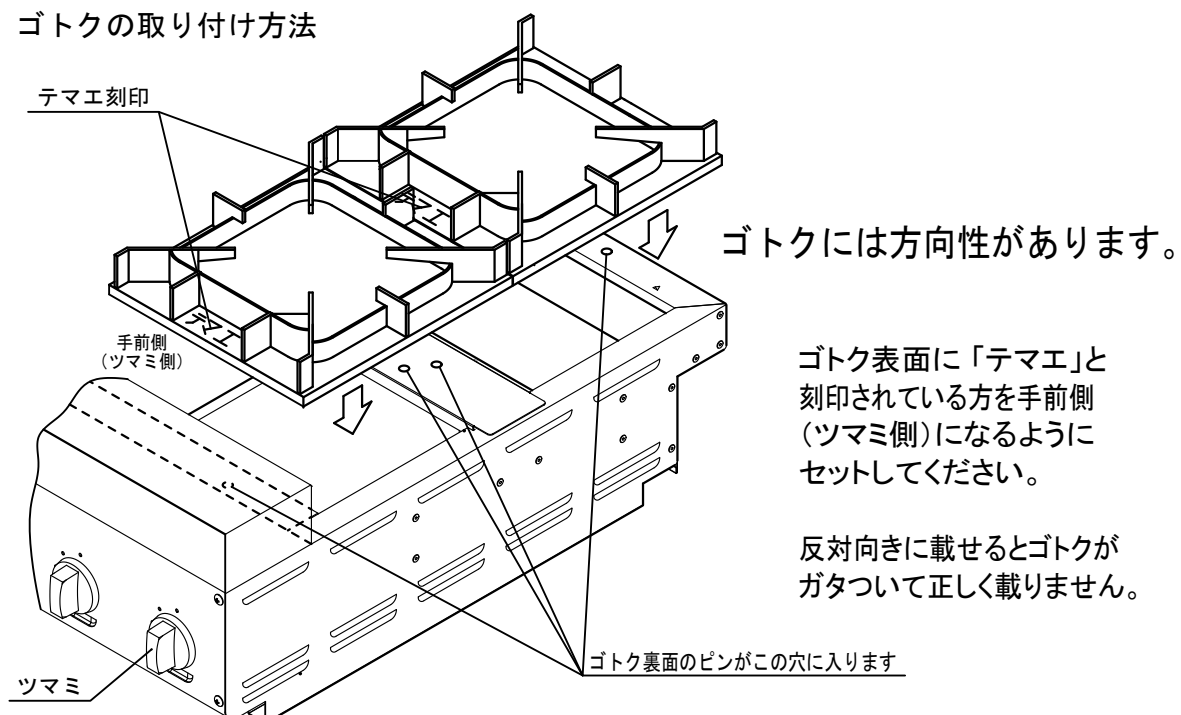


■ 設置について

■ バーナ取り付け方法



■ ゴトクの取り付け方法



■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ 装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認
- ・ 全部の器具栓つまみが右（時計方向）いっぱいまで回っていることの確認
- ・ 機器および機器周辺の確認

■ 操作の方法

- ① ガス栓を開く。
- ② 点火は、器具栓つまみを押しながら左（反時計方向）へ「カチッ」と音がするまでゆっくり回し、バーナに着火したことを確認してから、5～10秒押し続けて手を離し、もう一度バーナに着火していることを確認して下さい。
はじめて点火するときは、ガス管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合は、2・3回点火操作を繰り返し行って下さい。
※点火の際や点火しない場合、「ゴー」という異常音がする場合は「故障・異常の見分け方と処置方法」を参照して処置して下さい。何度も点火操作を繰り返すとガスが溜まり危険です。
- ③ 消火は、器具栓つまみを右（時計方向）へ「カチッ」と音がするまでもどし、消火したことを確認して下さい。
※消火したこと、器具栓つまみが押せる位置まで戻ったことを必ず確認して下さい。

■ 火力の調節

- ・ 火力調節は3段階に調節できるようになっています。
※火力調節の際は器具栓つまみをゆっくり動かしてください。速く動かすと火が消える場合があります。
※火力調節は節度以外での使用はできませんのでご注意ください。特に節度以下にすると火が消える場合がありますのでご注意ください。

■ 安全装置について

- ・ 本製品には、立消え安全装置が付いています。炎検出部（サーモカップル）がひどく汚れている場合、着火しにくい、使用中に火が消える等の症状がでることがあります。
その場合は14ページのお手入れの項を参照して清掃して下さい。



高温注意

清掃は必ず機器が冷えた状態で行って下さい。

- ・ バーナをセットする場合、炎検出部（サーモカップル）に当てないように気を付けて下さい。炎検出部（サーモカップル）の取り付け位置が変化して、着火しにくい、着火しないという症状がでる場合があります。

■ 停電時・災害時のご使用方法

- ・ ご使用中に万一停電や災害が発生した場合、器具栓つまみを右（時計方向）へいっぱいまで回し、ガス栓を閉じておいて下さい。復旧後は、通常の点火操作を行って下さい。

■ 日常の点検・お手入れ

日常点検およびお手入れを行なわれる場合、次の事項を必ずお守り頂いた上「日常の点検・お手入れ」の項に記載されたとおりに行なって下さい。
機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行って下さい。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・日常の点検・お手入れは、必ず行って下さい。
- ・特に煮こぼれした時は、必ずバーナの清掃を行って下さい。
- ・故障または破損したと思われるものは、使用しないで下さい。
- ・不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談下さい。
- ・点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、機器が冷えてから行って下さい。
- ・お手入れの際には指先に十分注意して下さい。
- ・機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行って下さい。各部品の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意して下さい。

■ 点 検



警告

- 点検前に必ずガス栓が閉じられていて、機器が冷えているかを確認してください。やけどのおそれがあります。
- ガス管（ゴム管、ゴム管止め、可とう管など）の劣化や接続は必ず点検してください。ガス漏れの原因になります。
- 機器の周辺に可燃物や危険物が無いことを確認してください。

- ・ゴム管接続の場合、ゴム管が、器具及びガス栓の両方共、赤い線まで十分に差し込まれていてゴム管止めが取り付けられているかを点検してください。
- ・ゴム管が古くなってひび割れしたり差し込み口がゆるんで、ガス漏れしていないかときどき石けん水などをかけて点検してください。
- ・機器の周辺に、紙・プラスチック・スプレー缶・油類などの可燃物を置いていないか点検してください。
- ・立消え安全装置付きのものは、立消え安全装置に汚れが付着していないか点検してください。
- ・各部品とも正しくセットされていることを確かめてください。
- ・バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
- ・機器周辺に可燃物・障害物などが無い確認してください。

●お手入れ道具と洗剤

使ってよいもの

- 本体表面など : ●中性洗剤 ●やわらかい布 ●スポンジたわし ●ナイロンたわし
●シュロブラシ等やわらかいブラシ
こびりついた汚れ用 : ●スクレーパー（へら）
バーナキャップ清掃用 : ●真ちゅうブラシ ●針金

使ってはいけないもの

- | | |
|--|---|
| ●酸性・アルカリ性洗剤
ガス機器に使用している部品を腐食させ、故障やガス漏れの原因になります。 | ●スプレーボトル式洗剤
機器内部に洗剤が入りますと部品を腐食させ故障の原因となります。直接かけずに布などに含ませてからお手入れしてください。 |
| ●クレンザー（みがき粉）、金属たわし
部品や塗装の表面にキズがつき、サビなどの原因となります。 | ●ベンジン・シンナー・アルコール
部品や塗装の表面が変質し、変色・塗装はがれ、サビなどの原因になります。 |

■ 日常の点検・お手入れ

■ お手入れ

⚠ 警告

- 酸性・アルカリ性の洗剤を、本体にかけないで下さい。
ガス通路部品が腐食し、ガス漏れをおこし、危険です。
- 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いはしないで下さい。
着火不良や不完全燃焼の原因となります。

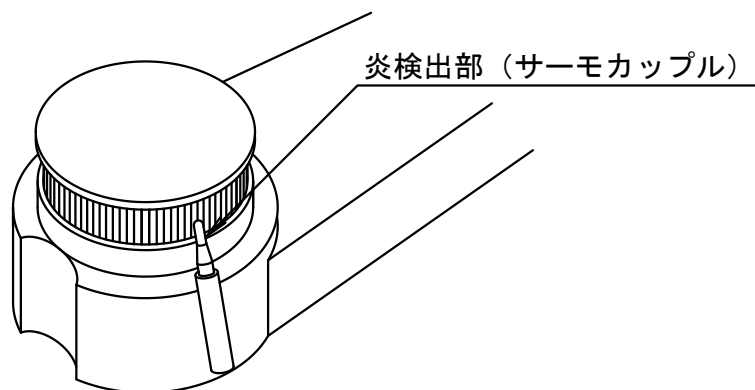
- ・ 市販の業務用洗剤には、ガス器具に使用している部品を腐食させる成分が含まれている場合があります。洗剤の注意書などで成分を確認して下さい。
- ・ 本体に、強力な洗剤の原液などを直接吹きつけたり、本体を丸洗いされますと、器具栓やガス導管などのガス通路の機能部品が腐食・破損しガス漏れなどにいたるおそれがあります。
- ・ 機能部品を清掃・お手入れされる場合は、布切れに中性洗剤を含ませて拭き取り、仕上げに濡れフキンで拭き取って下さい。
- ・ 汚れのひどい、ゴトク、汁受け、底皿など本体より取り外しが出来る部品は、本体より取り外しシンクなどで洗浄して、乾いた布などで拭いて下さい。
- ・ 機能部品に強い洗剤の原液などがかった場合は、固く絞った濡れフキンなどで拭き取って下さい。
- ・ 業務用洗剤ご使用時は洗剤の取扱説明書や使用上の注意をよくお読み頂き、従って下さい。
- ・ 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いなどはしないでください。機能部品やバーナに水がかかった場合は、必ず水気を乾いた布切れなどで拭き取って下さい。
- ・ 本体は、吹きこぼれや炭化物が付着すると取れにくくなりますので、毎日1回、手袋を着用して中性洗剤を含ませた濡れぶきんでふき取り、清掃して下さい。後は乾いた布で十分に水気をとって下さい。
- ・ 汁受け・底皿などは濡れぶきんでよく拭いて下さい。汚れのひどいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布で十分水気をとって下さい。

■ 立消え安全装置（サーモカップル）のお手入れ

お手入れ

炎検出部（サーモカップル）がひどく汚れて着火しにくい場合は、先端を歯ブラシなどの柔らかいブラシで掃除し布等で丁寧に拭き取って下さい。

注意 サーモカップルの取付位置を動かしたり、キズを付けないで下さい。点火不良や故障の原因になります。



■ 日常の点検・お手入れ

■ バーナキャップのお手入れ

点検

油や炭化物が付着した状態で使用を続けると、異常燃焼を起こし火が消えたり、着火しない場合がありますので、必ず日常の点検を行なってください。

お手入れ

図のように『針金』『ブラシ』などを使用してバーナキャップの溝を掃除してください。
油汚れが激しい場合は布に水と中性洗剤を少し付けて拭き取ってください。



お願い

ご使用の石鍋に大きなひび割れが出来た状態で使用されますと、多量の油が漏れてバーナキャップに付着し不具合が発生します。

必ず、ご使用の石鍋に付属の説明書、または、本説明書の新しい石鍋の使い方の通りに、ならし焼きを行ってから使用して頂き、大きなひび割れが出来ないようにしてください。

■ バーナのお手入れ

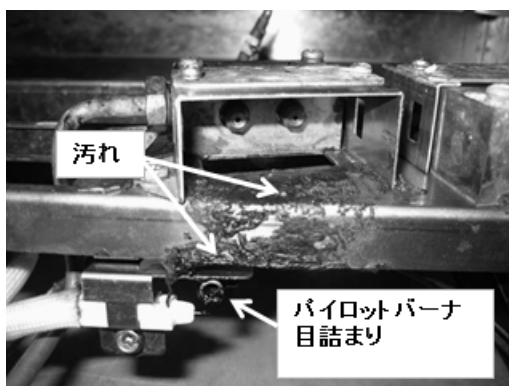
点検

バーナに油や炭化物が付着した状態で使用を続けると、異常燃焼を起こし火が消えたり、着火しない場合がありますので、11ページを参照にしてバーナを取り外し、必ず日常点検を行なってください。

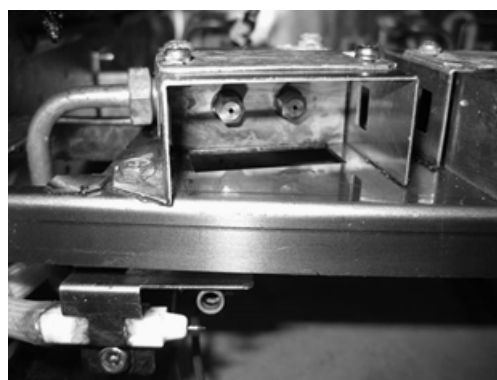
お手入れ

バーナの汚れは、図のように『ブラシ』を使用してバーナの溝を掃除してください。
油汚れが激しい場合は、布に中性洗剤を少し付けて洗い、布で拭き取ってください。

また、本体のバーナ取付部周辺の汚れや、パイロットバーナの汚れも、着火不良、不完全燃焼の原因になりますので、異物が付着していたり、汚れていたら、掃除して取り除いてください。



お手入れ前



お手入れ後

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原 因	現 象										処 置 方 法
	ガス の臭い がする	点 火し ない・ 点火 しにく い	着 火・火 移りが しにく い	炎が 黄火で 燃える	炎が 飛ぶよ うに燃 える	異 常な音 をたて て燃え る	炎が 異常に 小さい	炎が 異常に 大きい	炎が 安定し ない	使用 中に炎 が消え る	
ガス配管接続が不完全	○										ガス配管の接続を確実にする
ガス栓の開きが不十分		○	○				○		○	○	ガス栓を全開にする
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○		○	○		バーナを正しく取り付ける
立消え安全装置		○	○							○	P 1 4 に記載の安全装置の項参照
器具栓ツマミの開き不足		○	○				○			○	器具栓ツマミを右(時計方向)いっぱいまで戻してから再び点火操作を行う
バーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナの炎口を清掃する
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
バーナが劣化している		○		○		○	○			○	販売店に連絡し、修理して下さい

■ 長期間使用しない場合

■ 長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガス栓を閉じて保管して下さい。

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡下さい。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
 - ① 製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日・時間帯

■ 移設される場合

- ・ 移設によってガスの種類が変わる場合があります、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ず買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご連絡下さい。また、このときに要する費用は有料です。

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。（8ページを参照）

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ このガステーブルコンロの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ お客様の個人情報の取り扱いについて

- ・ 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ・ 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

■ 連絡先

- ・ ガステーブルコンロをお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店か当社へ連絡して下さい。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001/ISO9001認証取得

本 社／〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店／〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <https://www.silkroom.co.jp/> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。